

# 戦国の城 図面で再現

## 島田・諏訪原城跡 距離や高低正確に

島田市博物館は29日、  
 国指定史跡・諏訪原城跡  
 (同市菊川)で、「諏訪  
 原城を歩いて縄張(なわ  
 張り)図を描いてみよう」  
 を開いた。同志社大非常  
 勤講師(考古学)で同史  
 跡整備委員会委員の中井  
 均さんが講師を務めた。  
 縄張図は堀や土塁、郭



縄張図の作成に取り組む参加者—島田市菊川の諏訪原城跡

(くるわ)など城の遺構  
 の様子を描いた図面。県  
 中西部から20〜80歳代の  
 15人が参加し、作成の基  
 礎を学んだ。

参加者は城や郭の出  
 入り口となり、防御な  
 どの拠点になった「丸  
 馬出(うまだし)」の周  
 辺で作業した。曲線とな  
 る部分に注意しながら  
 歩数を基準に距離を計  
 測し、目視でとらえた  
 高低差とともに方眼紙に  
 書き込んだ。

中井さんは馬出や堀  
 の形状などの特徴を紹  
 介しながら、図面づく  
 りの注意やコツを説明。  
 縄張図の魅力について  
 「城は論理的に造られ  
 ている。図面を描くこ  
 とによって当時の人間

の思考に思いをほせ、城を「読む」ことが「読む」ことと強調  
 の構造の面白さにも触れ「した」。